

令和8年度 第3回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

1 日 時 令和8年6月3日(水) 13:30~15:05

2 場 所 大学本館2号館4階 多目的ホール

3 出席者(14名)(敬称略、選出区分順)

学内:石丸、長田、中田、足立、澤田、檜本、森本、石田尾、宗、東、藤野

学外:安元、田中、早川

欠席者(1名)

学内:なし

学外:櫻井

4 報告事項等

(1) 令和8年度 第3回迅速審査小委員会について

石丸迅速審査小委員会委員長から、席上配付資料に基づき、迅速審査4件について、委員の指摘事項等に関する研究責任者の対応及び修正内容を小委員会委員長が確認したので承認とした並びに本学が共同研究機関である他機関共同研究の中央一括審査の新規申請4件について、内容を確認し承認とした旨の報告があった。

(2) 迅速審査結果報告について

石丸委員長から、席上配付資料に基づき、迅速審査1件(研究期間延長に係る変更申請)について、期限の都合上、特例として委員長確認により結果通知書を発行した旨の報告があった。

○新規申請(迅速審査)

① 研究責任者: 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 主任(医療技術職)

川上 洋子

研究課題名: 腸内細菌目細菌を対象とした RaST-TAS®による β -ラクタマーゼスクリーニング検査の診断性能評価

審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

② 研究責任者: 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 主任(医療技術職)

川上 洋子

研究課題名: 尿検体由来腸内細菌目細菌を対象とした RaST-TAS による迅速薬剤感受性検査の性能評価

—尿検体直接法・コロニー法および微量液体希釈法との比較—

審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

③ 研究責任者: 産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 永田 智久

研究課題名: NDB を用いた全国的な両立支援実施状況の実態解明

審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

④ 研究責任者: 医学部 公衆衛生学 教授 中田 光紀

研究課題名: 職業性ストレスと生体指標に関する長期的健康アウトカムの追跡調査

研究代表機関: 産業医科大学

審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

○新規申請（中央一括審査/本学共同研究機関）

- ① 研究責任者： 産業保健学部 広域・発達看護学 助教 掛田 遥
研究課題名： 訪問看護スタッフ連携アプリ導入による訪問看護中の安心感および職務
関連指標への影響 待機対照群を用いた探索的非ランダム化比較研究
研究代表機関： 第一薬科大学
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ② 研究責任者： 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 准教授 山口 絢子
研究課題名： 血清亜鉛値と関連する検査項目抽出のためのアルゴリズム開発の試み
研究代表機関： 久留米大学病院
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者： I R推進センター 准教授 井上 彰臣
研究課題名： 深層学習モデルを活用した身体活動促進アプリケーションの抑うつ・不
安改善に対する有効性：労働者における無作為化比較試験
研究代表機関： 北里大学
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ④ 研究責任者： 医学教育改革推進センター 講師 濱田 千枝美
研究課題名： 生成AIを活用した Instructional Design と Programmatic Assessment
を組み合わせた医療者教育設計支援 Bot の開発とワークショップ実践を
通じた教育的効果の検証
研究代表機関： 千葉大学
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

○変更申請（中央一括審査/本学共同研究機関）

- ① 研究責任者： 情報管理センター 副センター長 村上 玄樹
研究課題名： COVID-19 流行による入院患者周辺の「ケア環境」の変化と看護マネジメ
ント：多施設を対象とした記述的研究
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 産業医科大学倫理委員会委員長による審査の結果、「承認」とする。

5 審議事項等

- (1) 令和8年度 第2回 産業医科大学倫理委員会議事抄録（案）について
石丸委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請（個別審査）

- ① 研究責任者： 産業保健学部 基礎看護学 教授 立石 和子
研究課題名： 口腔内細菌叢形成の要因探索に向けた基礎的研究：保育環境が未就学児
の口腔内細菌叢に与える影響
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出された
ものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

5. 研究対象者の選定方法 1) 募集方法、選択基準、除外基準、中止基準等
・3)除外基準について、除外する対象（全身的な基礎疾患があり、直近1か月以内に

抗菌薬投与を受けている児)に修正する。

- ・4)選定方法について、保育園名を明記する。

14. 研究により得られた結果等の取り扱い

- ・結果の説明を行わない理由として、研究結果を保育園に開示することにより、風評被害が生じるおそれがある旨を計画書に記載する。

17. インフォームド・アセントを受ける場合の手続方法

- ・研究対象は2歳児クラス(2～3歳)であり、指針においてアセントが必要とされる年齢(概ね7歳以上)に達していないことから、アセントは取得しない旨に修正する。

○参加される方への説明文書

5. 研究の方法について (2) 調査内容 ①アンケート調査(保育園)

- ・①アンケート調査(保育園)について、「など唾液の採取(園児)」を削除する。
- ・③保育園児の唾液を採取について、スポイトを使用する旨を追記する。
- ・「保育園における生活環境に関するアンケート」の「8. 園児同士の身体的接触」及び「9. クラス間の交流の有無」について、身体的接触及び交流の判断基準が不明確であるため、当該基準を追記する。

○その他

水平感染に関与する菌の特定に当たり、コントロール群(水平感染非関与群等)の設定について検討し、その要否及び妥当性を明確にすること。

② 研究責任者： 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 教授 大神 明

研究課題名： 医療高度化に資する PHR データ流通基盤を活用した産業保健支援に関する研究

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

4. 実施計画 1) 方法 b) 研究の具体的方法

- ・ウェアラブルデバイスの着用期間(各事業所の実態に応じて3～6か月の期間)を追記する。

○参加される方への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義について

- ・「■重要なご説明」の文言を削除する。

5. 研究の方法について

- ・ウェアラブルデバイスの着用期間(各事業所の実態に応じて3～6か月の期間)を追記する。

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスクについて 7-4. 研究対象者に不利益が生じた場合の措置方法について

- ・情報漏えいが発生した場合等、研究対象者に不利益が生じた場合の措置として、関係者において対応協議の上、適切に対処する旨の記載を追記する。

- ③ 研究責任者： 医学部 放射線科学 学内講師 二ツ矢 浩一郎
研究課題名： 対話型生成 AI を用いた医師に対する画像下治療（IVR）インフォームド
コンセンスト教育プログラムの開発と教育効果の検証
審査要旨： 審査の結果、「継続審査」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

3. 実施概要 1) 研究の背景

・「適切なインフォームドコンセンスト（IC）を行う能力」との記載については、「説明する能力」とするよう修正する。（関連する箇所についても同様に整合を図る。）

4. 実施計画 1) 方法 d) 評価項目 d) -1 主要評価項目（プライマリーエンドポイント）

・指導医評価スコアを主要評価項目とすることは、主観性が高い点に留意する必要があるため、その妥当性について再検討する。

・記載内容が曖昧であるため、具体的な統計解析方法を明確に記載する。

・介入前後に自己評価を実施する場合、トレーニング後に評価が向上するとの先入観が結果に影響する可能性があることから、評価方法について工夫を検討する。

9. 研究対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 研究対象者への負担

・AI の採点に伴う精神的な負担については、研究対象者への負担として適切か再検討し、必要に応じて記載内容を整理する。

・研究に要する時間の明示は、参加可否の判断に資する重要な情報であるため、あらかじめ計画の上、明確に示す。（説明文書にも記載する。）

○参加される方への説明文書

・アンケートが添付されていないため、添付する。

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスクについて 7-4. 研究対象者に不利益が生じた場合の措置方法について

・AI の採点に伴う精神的な負担については、不利益としての妥当性を検討の上、必要に応じて記載を削除する。

(2) 新規申請（中央一括審査）

○本学代表研究機関

① 研究責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 講師 谷 直道

研究課題名： リハビリテーション専門職における職場の安全文化と多職種連携能力の
関連：横断研究

研究代表機関： 産業医科大学

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

5. 研究対象者の選定方法 1) 募集方法、選択基準、除外基準、中止基準等 2) 研究者の目標人数

・「約 960～1,200 名」を「約 1,600～2,000 名」に修正する。

○研究実施計画書

3. 方法 3-6. 目標登録者数

・「約 960～1,200 名」を「約 1,600～2,000 名」に修正する。

- ② 研究責任者： 産業生態科学研究所 環境疫学 教授 藤野 善久
研究課題名： 唾液中コルチゾールおよびテストステロン濃度と血中濃度の比較検証
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

4. 実施計画 1) 方法 b) 研究の具体的方法
・採取する血液量について、「10cc」を「20cc」に修正する。

- ③ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健管理学 講師 永野 千景
研究課題名： 暑熱環境下における防じん機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具着用による核心温上昇抑制効果の検討
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

4. 実施計画 1) 方法 b) 研究の具体的方法
・「30%HRR 以下の運動」を「50%HRR 以下の運動」に修正する。

○研究実施計画書

4. 研究方法 4-6-2 データ収集方法 ③各指標の測定
・「30%HRR 以下の運動」を「50%HRR 以下の運動」に修正する。

○参加される方への説明文書

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスクについて 7-3. 研究対象者の負担及びリスクを最小化する対策について
・「同一センサーを…」で始まる段落について、示すセンサー（食道温センサー又は直腸温センサー）が不明確であるため、研究対象者の理解に資するよう具体的かつ明確に修正する。

○参加者募集のポスター

■内容

- ・「熱中症の発生を予測する」を「熱中症の発生を予防する」に修正する。

(3) 変更申請（個別審査）

- ① 研究責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 講師 谷 直道
研究課題名： 日本予防医学協会が保有する健康データの記述統計及び解析～産業歯科保健データに関する後ろ向き研究～
研究代表機関： 一般財団法人日本予防医学協会
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ② 研究責任者： 医学部 衛生学 教授 辻 真弓
研究課題名： 溶接作業者の溶接ヒュームばく露（個人ばく露と生体内ばく露）と健康影響の関係に関する疫学調査
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者： 医学部 精神医学 教授 池ノ内 篤子
研究課題名： 高ストレスの労働者に対する認知行動スキルを用いたセルフケア教育の実施可能性と有効性に関する研究
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業精神保健学 講師 真船 浩介
研究課題名： 職場の組織資源が労働者の職業性ストレス及び精神的健康に及ぼす影響に関するデータ解析
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 研究責任者： 医学部 医学概論 教授 石丸 知宏
研究課題名： 労働者向け HIV 感染症・エイズ啓発資料の効果検証
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 研究責任者： 医学部 医学概論 教授 石丸 知宏
研究課題名： HIV 感染症・エイズに関する知識普及度と啓発資料による介入効果の評価：インターネット調査による前向き研究
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 研究責任者： 産業医科大学病院 リハビリテーション部 技師 奥村 成実
研究課題名： 集中治療患者の早期リハビリテーション-Dose と転帰に関する国際多施設前向き観察研究
研究代表機関： 日本離床学会
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑧ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
研究課題名： 職場の孤立・孤独を予防する管理者向けの介入手法の開発～前後比較試験による研究～
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑨ 研究責任者： 産業医実務研修センター 助教 田口 要人
研究課題名： 従業員参加型職場環境改善活動の実施における阻害・促進要因分析と実装戦略の策定
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ⑩ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健管理学 講師 永野 千景
 研究課題名： 暑熱環境下におけるヘルメット型発汗量計測デバイスによる運動時発汗量の測定
 研究代表機関： 産業医科大学
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑪ 研究責任者： 医学部 衛生学 教授 辻 真弓
 研究課題名： エコチル調査参加父母児におけるアレルギー等の症状と環境化学物質特異的抗体との関係についての研究
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑫ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
 研究課題名： スマートフォンアプリケーションを利用した職域における心理教育と自覚疲労の検証
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑬ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 永田 智久
 研究課題名： 企業と健康保険組合とのコラボレーションによる健康管理活動および保健事業の推進のための研究（コラボヘルス研究）
 研究代表機関： 産業医科大学
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(4) 変更申請（中央一括審査）

○本学代表研究機関

- ① 研究責任者： 産業保健学部 人間情報科学 准教授 黒坂 知絵
 研究課題名： 実生活での学習場面における緑茶摂取の影響
 ー作業成績・フロー体験との関係ー
 研究代表機関： 産業医科大学
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 研究責任者： 産業保健学部 作業環境計測制御学 講師 石田尾 徹
 研究課題名： 放射線業務従事者の放射線防護の最適化
 研究代表機関： 産業医科大学
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者： 産業保健学部 作業環境計測制御学 講師 石田尾 徹
 研究課題名： 整形外科手術領域の診断参考レベル設定のための予備調査
 研究代表機関： 産業医科大学
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 研究責任者： 産業医科大学病院 嗅覚・味覚センター 部長 柴田 美雅
 研究課題名： 日常診療で行う「基準嗅覚検査」の3管理ー検査試薬が臨床検査技師および患者に及ぼす影響の検討
 研究代表機関： 産業医科大学
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

7 その他

- (1) 研究終了報告 2 件、中止報告 1 件、及び進捗状況報告 24 件について、別紙のとおり承認された。
- (2) 倫理審査変更申請の遅延について、研究責任者より理由の説明があり、委員会としては手続き遵守の徹底および再発防止策の実施を求めることとした。
- (3) 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に係る報告について、通報に基づき調査小委員会を設置し調査を行った結果、倫理指針への不適合は認められなかった。これを受け、委員会において当該研究者らから経緯の報告がなされた。

研究終了報告

承認番号	研究責任者	所 属	職 名	課 題 名
ER24-046	日野 亜弥子	産業精神保健学	学内講師	治療と仕事の両立支援を行う上で疾病に関連した安全配慮上のリスクが残存する事例対応のプロセスモデルの整理:事例収集および手引き集作成のためのインタビュー調査
R3-034	小田上 公法	産業保健経営学	助教	通信技術を用いた遠隔産業医活動の可能性と留意点 ～COVID-19パンデミック下での経験に関するインタビュー調査 およびフォーカスグループディスカッション～

研究中止報告

承認番号	研究責任者	所 属	職 名	課 題 名
ER23-009	永野 千景	産業保健管理学	講師	職場における個人情報保護と活用に関する意見調査

研究進捗状況報告

承認番号	研究責任者	所 属	職 名	課 題 名
ER25-017	上野 啓通	第1生理学	助教	職場と産業保健スタッフの合意による厳格な健康診断事後措置が、重症健診異常を抱える従業員へ与える影響
ER23-017	丸山 崇	第1生理学	教授	「IoT技術を用いた転倒予防システムの開発」
ER25-010	大河原 眞	公衆衛生学	准教授	企業における更年期障害への産業保健職の対応に関するアンケート調査
ER25-020	中田 光紀	公衆衛生学	教授	仕事のストレス要因と生活習慣、仕事の怪我とうつ病の関連
ER25-022	石丸 知宏	医学概論	教授	労働者向けHIV感染症・エイズ啓発資料の効果検証
ER24-012	桑村 真美	小児科学	診療助教	学校や病院における小児の保健対策(プレコンセプションケア、医療的ケア児への災害対策)の現状と課題の調査
ER25-009	永田 昌子	両立支援科学	准教授	疾病別の治療と仕事の両立支援に必要な情報の整理(職場復帰標準期間とプレゼンティーズムの推計)
ER25-006	立石 和子	基礎看護学	教授	看護管理者の災害対応に関するコンピテンシーの実態調査
ER24-013	立石 和子	基礎看護学	教授	まちの減災ナース指導者としての介入方法の検討 ー企業からひろめる減災活動ー
IK25-001	松浦 祐介	広域・発達看護学	教授	妊娠中から産後3か月に寄り添う支援を受けた母親の認識
ID23-002	中谷 淳子	産業・地域看護学	教授	中小規模事業場における産業看護職の活用ニーズに関する調査
ER23-016	宮内 博幸	作業環境計測制御学	教授	実際の使用条件下における化学防護衣の透過性の研究
ER25-018	谷 直道	人間工学	講師	介護施設における業務効率化と介護職員の心身負担との関連性

承認番号	研究責任者	所 属	職 名	課 題 名
ER25-012	岡崎 龍史	放射線衛生管理学	教授	動物園・水族館における放射線業務管理と防護意識のアンケート調査研究
R3-018	岡崎 龍史	放射線衛生管理学	教授	福島原発作業員の放射線不安軽減を目指した教育プログラムの構築
R4-030	永野 千景	産業保健管理学	講師	耳垂部におけるminor法を用いた発汗量の定性的評価について
ER25-011	江口 尚	産業精神保健学	教授	中小規模事業場のストレス対策とリスクリングの実態把握と今後の支援策に関する調査研究
ER25-014	藤野 善久	環境疫学	教授	男性更年期障害のスクリーニング実装に向けたパイロット研究(2)
ER25-015	藤野 善久	環境疫学	教授	日本におけるCOVID-19問題および社会全般に関する健康格差評価研究
R1-015	大神 明	作業関連疾患予防学	教授	特許技術を使った唾液検査によるストレス定量法確立の基礎実験
ER25-008	大神 明	作業関連疾患予防学	教授	産業保健分野におけるPHRの利活用実態とその普及の促進・阻害要因に関する調査研究～産業医に関わる研究～
ER23-006	興梠 陸人	臨床検査・輸血部	技師	当院において感染性心内膜炎と診断された症例の細菌・生理学的検討
IK24-003	興梠 陸人	臨床検査・輸血部	技師	大学病院新生児集中治療室におけるMRSA保菌状況の検討
R1-014	辻 真弓	エコチル調査 産業医科大学 サブユニットセンター	センター長	子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)本調査における産業医科大学サブユニットセンター任意調査(8歳、12歳)